

事務事業名		山田線道路改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																											
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目																											
	施策名	07 防災対策の推進				会計	款	項	目																								
	基本事業名	02 地域防災体制の強化				01	08	02	03																								
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓平成12年度～平成25年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		04																											
所属	部課名	都市整備部建設課																															
	係名	土木係	電話 0192-27-3111 内線 316																														
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																													
<p>市道山田線は、赤崎町後ノ入地区と宮野地区を結ぶ連絡路線であるが、現状は未舗装で幅員が4m未満と狭く車両の通行に支障を来している。一方、本路線は津波等の災害時に沿岸沿いの県道大船渡綾里三陸線が不通となった場合、市街地方面への迂回路として位置付けられており、平成23年3月11日発生東日本大震災において、後ノ入地区への唯一の避難路及び緊急輸送路として利用され、その重要性が改めて認められたところである。</p> <p>本路線の整備は、延長3,236m 幅員4.0mとし、平成20年度までに測量設計業務を全線完了、用地買収(10,375㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(1,271m)、平成21年度に用地買収(602㎡)、工事施工(160m)、平成22年度は用地買収(509㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(230m)、平成23年度は用地買収(613㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(537m)を実施している。平成24年度は平成23年分にて補償業務(立木等)、工事施工(285m)、現年分にて工事施工(753m)を予定している。</p> <p>本事業の完了は平成30年度の予定であったが、地域要望および震災による重要性の再認により早期の全線整備をめざし、平成25年度を目標とする。</p> <p>事業費は、委託料、土地購入費、補償金、工事費、事務費として支出される。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>143,000</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>147,200</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>7,800</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>298,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>延べ業務時間</td> <td>5,760</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計(B)</td> <td>23,040</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>321,040</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	143,000	都道府県支出金		地方債	147,200	その他		一般財源	7,800	事業費計(A)	298,000	人件費	正規職員従事人数	2		延べ業務時間	5,760		人件費計(B)	23,040		トータルコスト(A)+(B)	321,040
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金	143,000																														
		都道府県支出金																															
		地方債	147,200																														
		その他																															
	一般財源	7,800																															
	事業費計(A)	298,000																															
	人件費	正規職員従事人数	2																														
	延べ業務時間	5,760																															
	人件費計(B)	23,040																															
	トータルコスト(A)+(B)	321,040																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
用地買収(613㎡)、補償業務(立木等)、工事施工(537m)		ア	用地買収面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	施工延長
H23繰越分: 補償業務(立木等)、工事施工(285m)		ウ	
H24現年分: 工事施工(753m)		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	
市道山田線、市道利用者		単位	
赤崎地区		カ	計画総延長
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	主たる利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当り平均人口)
(市道利用者に)より安全に利用してもらう		ク	
(赤崎地区に)地震など災害の際の避難路および輸送路が確保される		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		名称	
災害時に適切な対応ができる体制を整え、被害を最小限に抑える		単位	
		サ	十分な幅員で舗装された供用開始道路延長
		シ	整備率(計画区間改良済延長/計画総延長)
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

	年度	単位	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円	9,970	59,029	27,000		
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円	6,300	37,300	17,100		
		その他	千円					
		一般財源	千円	348	2,053	900		
		事業費計(A)	千円	16,618	98,382	45,000	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2			
	延べ業務時間	時間	240	560	240			
	人件費計(B)	千円	960	2,240	960	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,578	100,622	45,960	0	0	
⑤活動指標	ア	㎡	613	0	0			
	イ	m	0	822	753			
	ウ							
⑥対象指標	カ	m	3236	3236	3236			
	キ	人	70	70	70			
	ク							
⑦成果指標	サ	m	1661	2483	3236			
	シ	%	51.3	76.7	100.0			
	ス							

事務事業ID	0669	事務事業名	山田線道路改良事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	この市道は、有事の際に避難路及び緊急輸送路として利用される道路であるが、現道は未舗装のうえ幅員も狭いため、地域より道路の拡幅を要望され、平成12年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	市議会の赤崎議員会や赤崎地区公民館から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 事業実施により、津波等の災害時に海岸沿いの主要地方道が不通になった場合、市街地方面への唯一の避難路及び緊急輸送路として利用されることから、安全なまちづくりの推進につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この市道は、全区間未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できる(災害時に安全な非難ルートが確保される)ようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地为認められない。(年度ごとの実績はあるが、全区間整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない。)
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ (災害時等に)安全に道路を利用できない。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	0669	事務事業名	山田線道路改良事業
--------	------	-------	-----------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	保安林の指定になっている区間について、保安林解除に不測の日数を要したため、下記事業について平成24年度に繰越した。 事業費:54,718千円 事業内容:補償業務(立木等)、工事施工(285m)																							
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																							
(上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度以降の事業区間は保安林指定区域であり、解除の条件として確実な事業の実施が求められているため、基本的に事業費確定分の解除しか認められないことから、今後は毎年申請しなければならないことになる。保安林解除申請には相当の時間と労力を要することから、これまでのような事業スピードで整備を進めていたのでは、残りの事業期間の業務時間の増は避けることが出来ない。震災を期に本路線の早期完成が求められていることも踏まえ、事業完了年度を平成30年度から平成25年度に繰り上げ、H23線およびH24現年での全線完了をめざし、一括して保安林解除することで、保安林解除申請にかかる人件費(業務時間)の削減を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	●		×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																									

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	建設課長	
-------	------	--

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																									
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																									
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																									
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																									
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																									
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																							
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な事務執行がなされている。																							
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																							
(上記方向性に対する具体的な内容) 震災を期に本路線の早期完成が求められていることも踏まえ、事業完了年度を平成30年度から平成25年度に繰り上げ、一括して保安林解除することで、保安林解除申請にかかる人件費(業務時間)の削減を図る。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	●		×																					
	低下		×	×																					

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
